

2011年3月期決算説明会

荏 原 (6361)

2011年5月10日



【生産拠点について】

影響は軽微。全ての生産拠点で通常通り稼働中。

【電力の供給不足への対策について】

夏に想定される電力不足に対応すべく、各工場生産シフトの変更を実施中。

荏原は、社会インフラや産業インフラに携わる企業として、今回の震災の復旧・復興支援活動にグループ一丸となって取り組んでまいります。同時に、お客様に製品やサービスを継続的に提供することは、荏原の最大の使命であり、これまでと同様、全力で取り組んでまいります。

【主要工場の現況】



富津工場
(2011年4月4日撮影)



袖ヶ浦工場
(2011年3月31日撮影)



藤沢・汎用ポンプ工場
(2011年4月1日撮影)



藤沢・CMP工場
(2011年4月4日撮影)

2011年3月期決算 サマリー

(単位：億円)	2009年3月期 (実績)	2010年3月期 (実績) (A)	2011年3月期 (実績) (B)	増減 (B-A)
受注高	4,813	4,266	4,309	+43
売上高	5,011	4,858	4,016	△842
営業利益	6	189	315	+125
経常利益	△23	167	287	+120
当期純利益	△131	54	281	+227

実績レート	1ドル=95.8円	1ドル=90.5円	1ドル=85.9円	—
想定レート	1ドル=95円	1ドル=90円	1ドル=85円	—

2011年3月期決算 サマリー

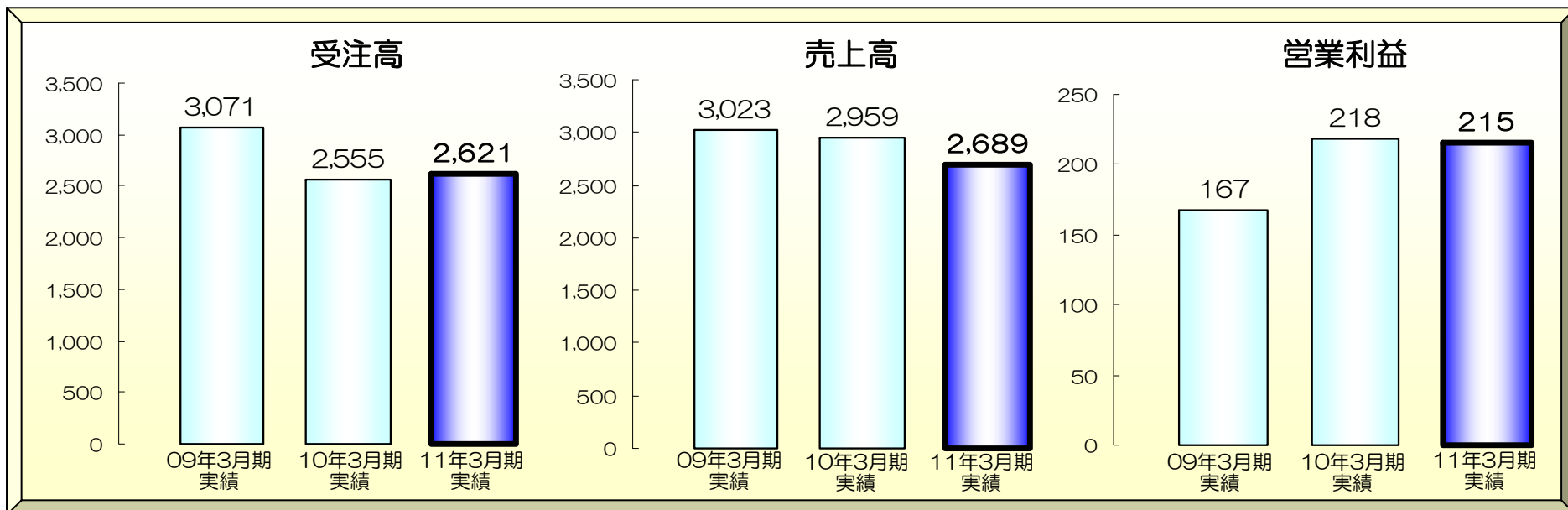
(単位：億円)

		売上高			営業利益		
		2010年 3月期	2011年 3月期	増減	2010年 3月期	2011年 3月期	増減
報告セグメント	風水力事業	2,959	2,689	△270	218	215	△2
	エンジニアリング 事業	1,303	516	△786	△12	9	+21
	精密・電子事業	505	679	+173	△27	80	+107
	その他※	90	131	+41	9	7	△2
	調整額	—	—	—	0	2	+1
	合計	4,858	4,016	△842	189	315	+125

※当連結会計年度より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しています。従って、従来「エンジニアリング事業」に含めていた「その他の事業」について、報告セグメントに含まれない事業セグメントとして区分して記載することとしました。

風水力事業

単位：億円



【受注】

石油・ガス業界をはじめとするエネルギー関連案件の発注時期の遅れなどや価格競争の激化の影響により前期実績並みの水準に留まった。

【売上】

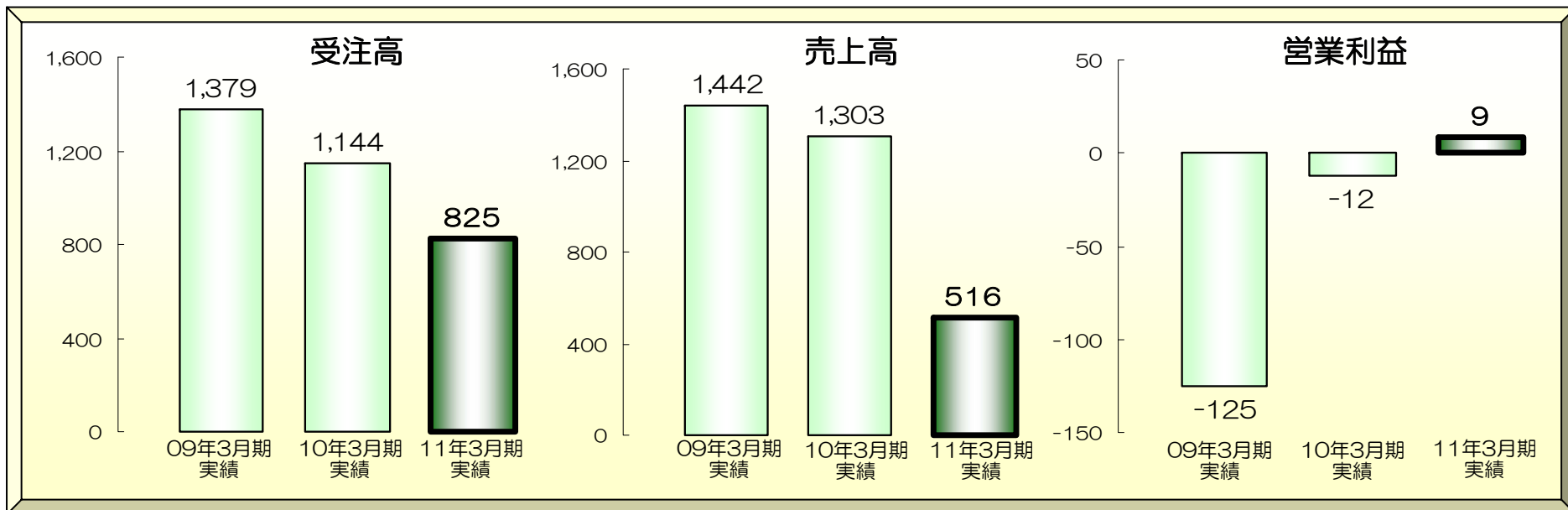
前期からの受注残が減少したことや、当期受注が低水準に推移したため、好調であった前期実績を下回った。

【営業利益】

売上の減少はあったものの、生産性改善や調達コストダウンなどによる収益性改善により、前期実績並みを確保した。

エンジニアリング事業

単位：億円



【受注】

水処理プラント事業の連結除外の影響があるものの、EPCでは厳しい競争環境のなかDBO案件を受注したほか、O&Mにおいても長期包括委託契約を受注するなど好調に推移した。

【売上】

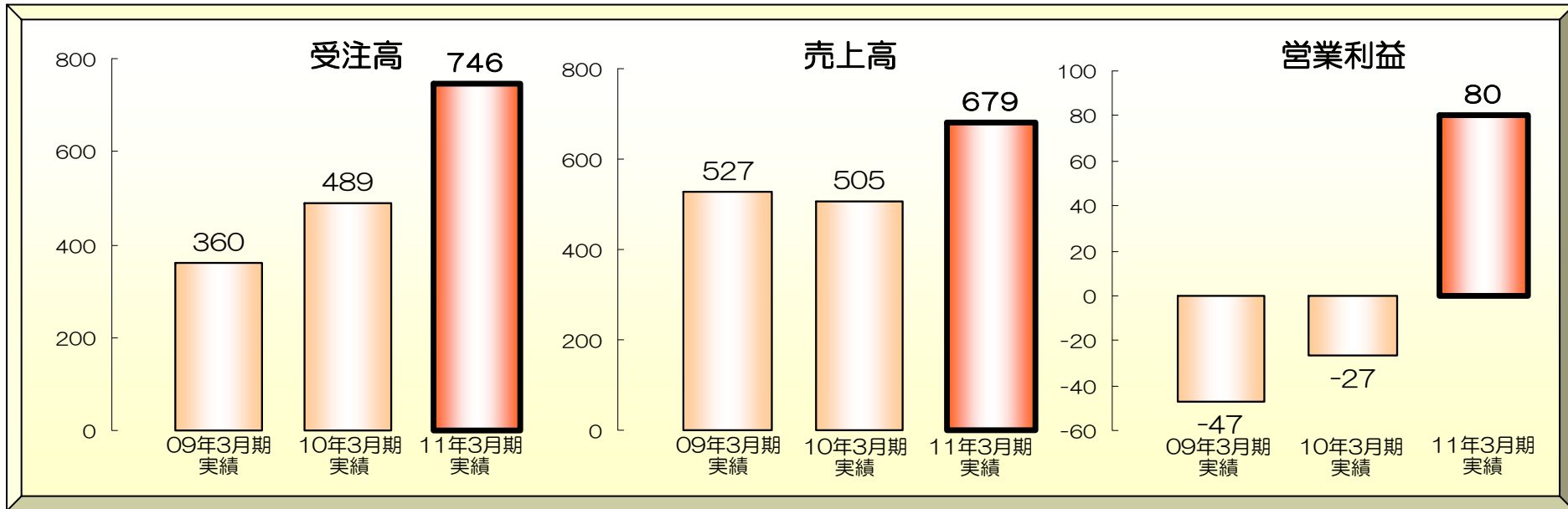
水処理プラント事業の連結除外の影響により大きく減少したほか、国内EPCの売上減により前期実績を下回った。

【営業利益】

原価低減を徹底して継続したことに加えて、海外工事において期間内に引き当てた金額が減少した結果、黒字を確保した。

精密・電子事業

単位：億円



【受注】

主要顧客の設備投資が今期においても引き続き行われ、当社の受注も堅調に増加した。前年同期比では約53%増の受注額となった。

【売上】

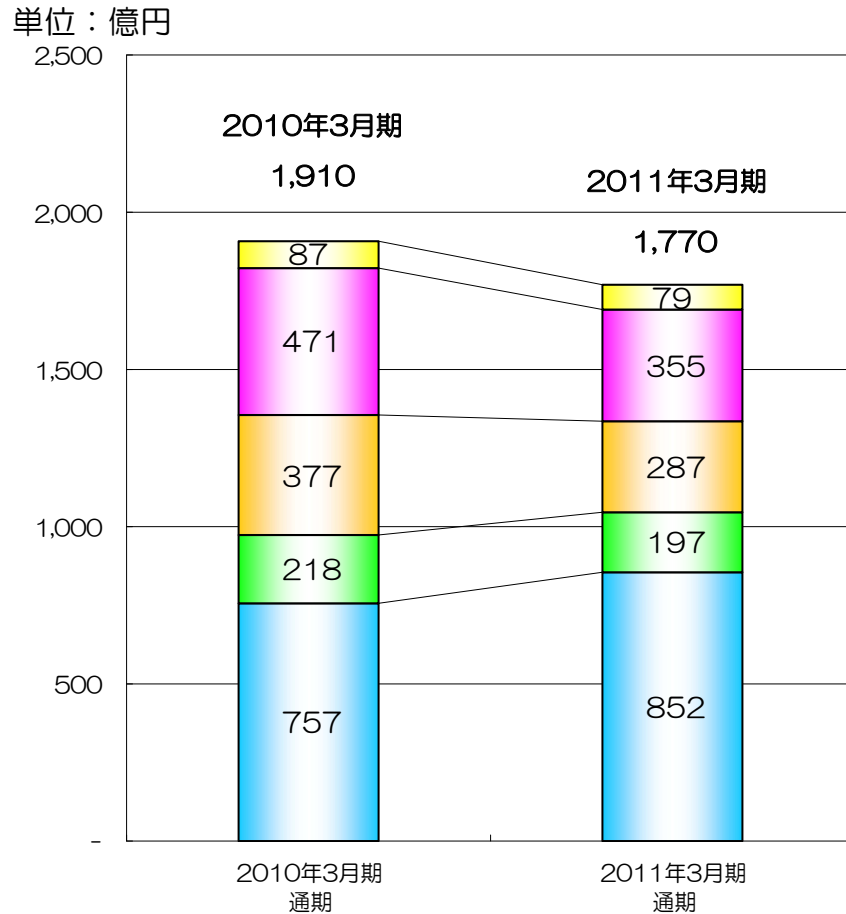
受注が安定していたことから、売上についても堅調に増加し、前年同期比で約34%増となった。

【営業利益】

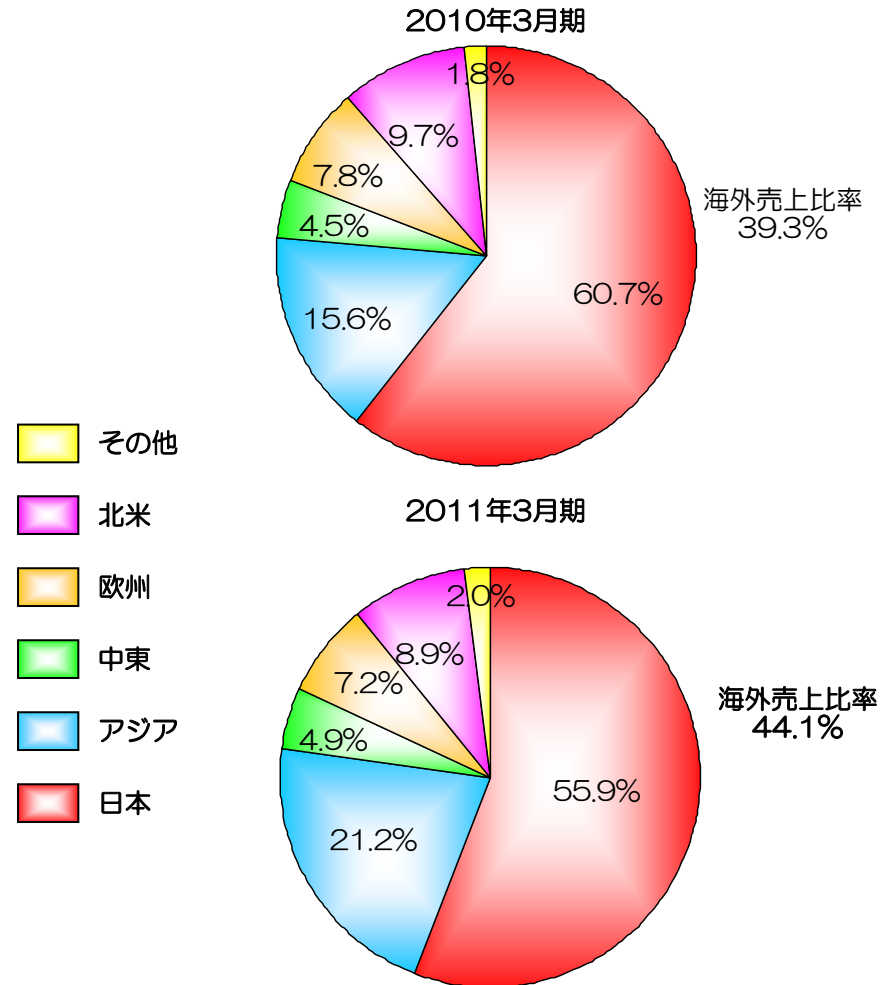
固定費削減努力に加え徹底した原価低減の効果が現れたことで、営業利益率が大幅に改善し、営業利益率11.8%となった。

<u>項 目</u>	<u>金 額</u>
<u>特別利益</u>	<u>23億円</u>
<u>主な特別利益</u>	
・ 固定資産売却益	10億円
・ 関係会社株式売却益	11億円
<u>特別損失</u>	<u>25億円</u>
<u>主な特別損失</u>	
・ 固定資産売却損	8億円
・ 投資有価証券等評価損	5億円
・ 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9億円

地域別売上高（日本含まず）



地域別売上構成



風水力事業

(単位 億円)	2011年3月期 通期実績	2012年3月期 通期計画	増減
受注	2,621	2,900	+279
売上	2,689	2,700	+11
営業利益	215	150	△65

通期見通し

● 受注計画

震災による国内市場の低迷が懸念されるものの、海外市場での原油価格高騰を背景とした石油・ガス業界の市場拡大を見込む。

● 売上計画

水力機械・気体機械における受注残減はあるものの、汎用風水力機械及び冷熱機械における海外市場を中心とした一般産業や建築設備投資の回復、グローバルサービス&サポート事業拡大などにより前期並みを見込む。

● 利益計画

収益性の改善に努めるものの、固定費の増加や低採算案件が売上の中心となることなどにより減益を見込む。

風水力事業

・・・ 事業別主要施策

事業方針

主要施策

グローバル市場での
競争優位の実現

国内事業の徹底的な
収益力向上

事業基盤の強化

水力機械

- ・重点地域ごとのマーケティング重視による製品・販売戦略の展開
- ・中東・中国・インド等の新興国の事業拡大
- ・サービス&サポート拠点のネットワーク整備と体制強化

汎用風水力機械

- ・重点地域ごとのマーケティング重視による製品・販売戦略の展開
- ・需要に応じて生産・輸送するグローバルサプライチェーン体制の構築
- ・省エネルギー製品シリーズの投入による国内シェア拡大

風水カプラント

- ・総合評価案件に対する取組みの強化
- ・更新・アフター案件への取組み強化

気体機械

- ・中東等を中心としたサービス&サポート拠点のネットワーク整備
- ・エネルギー分野向け製品ラインアップの拡充

冷熱機械

- ・中国製造拠点との一体経営の推進
- ・グローバル製品の開発・設計の推進

全事業

- ・生産革新運動及び戦略的調達による原価低減
- ・国内販売・サービス&サポート体制の効率化

※震災生産対応 ・ 調達先や生産シフトの変更等による製品供給の継続

エンジニアリング事業

(単位：億円)	2011年3月期 通期実績	2012年3月期 通期計画	増減
受注	825	650	△175
売上	516	500	△16
営業利益	9	40	+31

通期見通し

- 受注計画 新設EPC案件の受注と長期包括委託契約などO&M案件の着実な確保を目指す。
- 売上計画 今期竣工予定のEPC案件などの着実な達成により前期並みを見込む。
- 利益計画 前期計上した海外焼却炉プラント案件の追加引当分による損失は軽減され、収益は回復する。

エンジニアリング事業 . . . 事業別主要施策

事業方針

主要施策

発注者ニーズへの柔軟な対応

EPC部門・O&M部門の一体経営

- ・EPCの設計ノウハウを活用した既設炉の基幹的設備改良提案強化
- ・維持管理における複数年／長期包括契約の推進と採算性向上

競争力・収益力の向上

総合提案力・価格競争力の強化

- ・EPCの設計ノウハウおよびO&Mの維持管理ノウハウを一体化したDBO案件提案
- ・営業、工事部門の一体化による業務効率の改善
- ・専門組織の設置による標準化・パッケージ化の一層の推進

建替需要の受注確保

O&Mネットワーク活用によるEPC受注への展開

- ・O&M部門の全国サービス網による建替案件の早期把握
- ・効率的な更新計画の早期提案

精密・電子事業

(単位：億円)	2011年3月期 通期実績	2012年3月期 通期計画	増減
受注	746	750	+4
売上	679	750	+71
営業利益	80	80	0

通期見通し

- 受注計画

半導体市場は引き続き安定的に推移すると想定され、主要顧客の設備投資も続くと見込まれるものの、震災の影響が今後表面化するリスクもあり、前期と同程度と見込む。

- 売上計画

前期からの受注残に支えられ、前期実績を上回る見込みである。

- 利益計画

売上増があるものの、研究開発費を含めて固定費が増加することから前期並みの確保を目指す。

精密・電子事業

... 事業別主要施策

事業方針

主要施策

市況に左右されない
事業体質の構築

コンポーネント機器事業

- ・EVシリーズ・Gシリーズの本格投入による収益性向上
- ・非半導体分野向け機器のラインナップ拡充とシェア拡大

CMP装置事業

- ・主力機種300S IIの熟成と継続的なコストダウン
- ・機能改善によるプロセス性能向上によりシェア拡大

高収益の確保

新事業推進（めっき装置、ベベル研磨装置、その他）

- ・TSV用量産機の開発と三次元実装分野のシェア拡大
- ・ベベル研磨装置のウェーハ内収率改善技術への応用

人材配置の最適化

ものづくりプロセス

- ・生産革新活動の定着・浸透による生産性向上
- ・海外生産・海外調達の推進とその組織体制の構築

サービス&サポート事業

- ・きめ細か対応を通じたサービス&サポート事業の強化
- ・グローバルな在庫の一元管理体制の確立

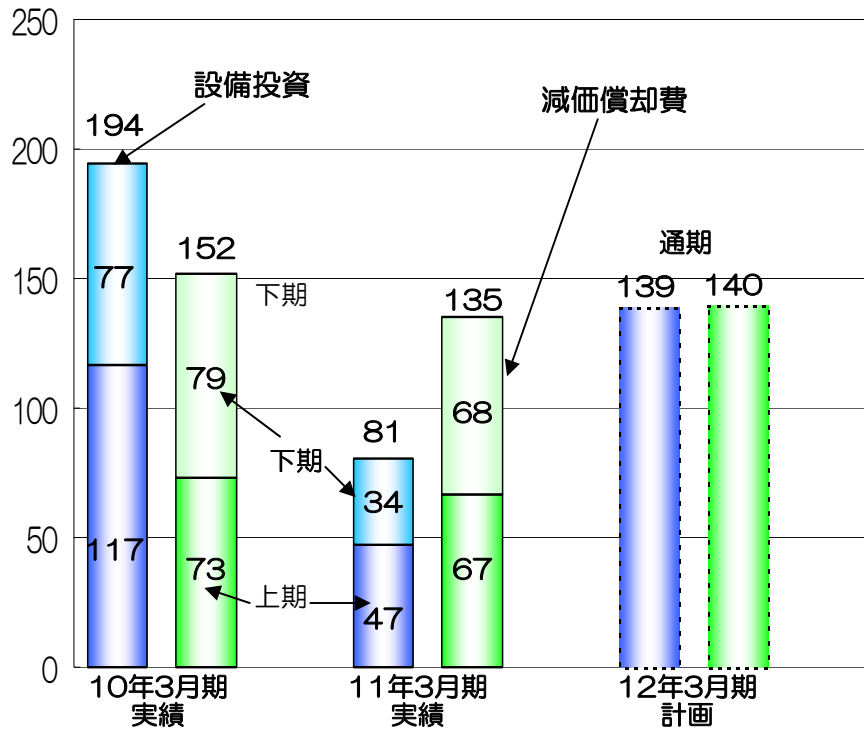
2012年3月期 業績見通し

(単位：億円)	2010年3月期 (実績) (A)	2011年3月期 (実績) (B)	2012年3月期 (計画) (C)	増減 (対前年比) (C-B)
受注高	4,266	4,309	4,400	+91
売上高	4,858	4,016	4,050	+34
営業利益	189	315	280	△35
経常利益	167	287	250	△37
当期純利益	54	281	130	△151

実績レート	1ドル=94.7円	1ドル=85.9円	—	—
想定レート	1ドル=90円	1ドル=85円	1ドル=80円	—

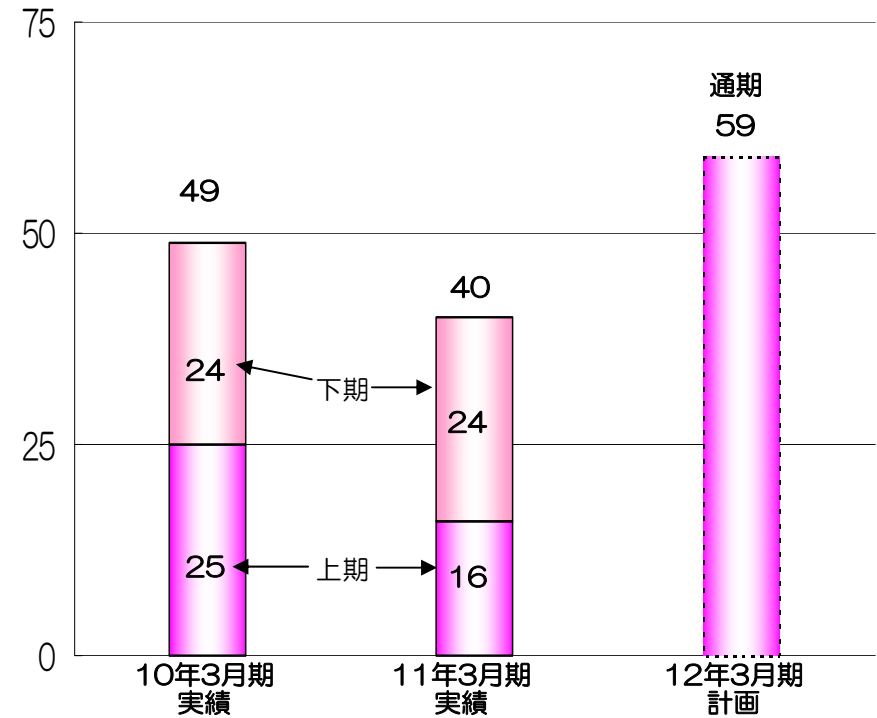
設備投資・減価償却費

単位：億円

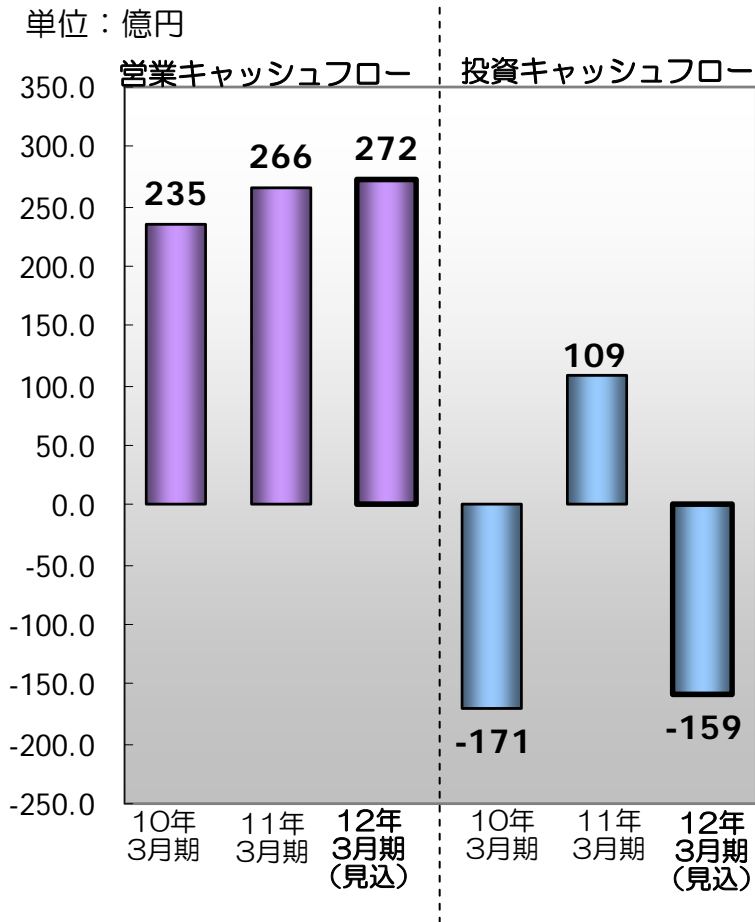


研究開発費

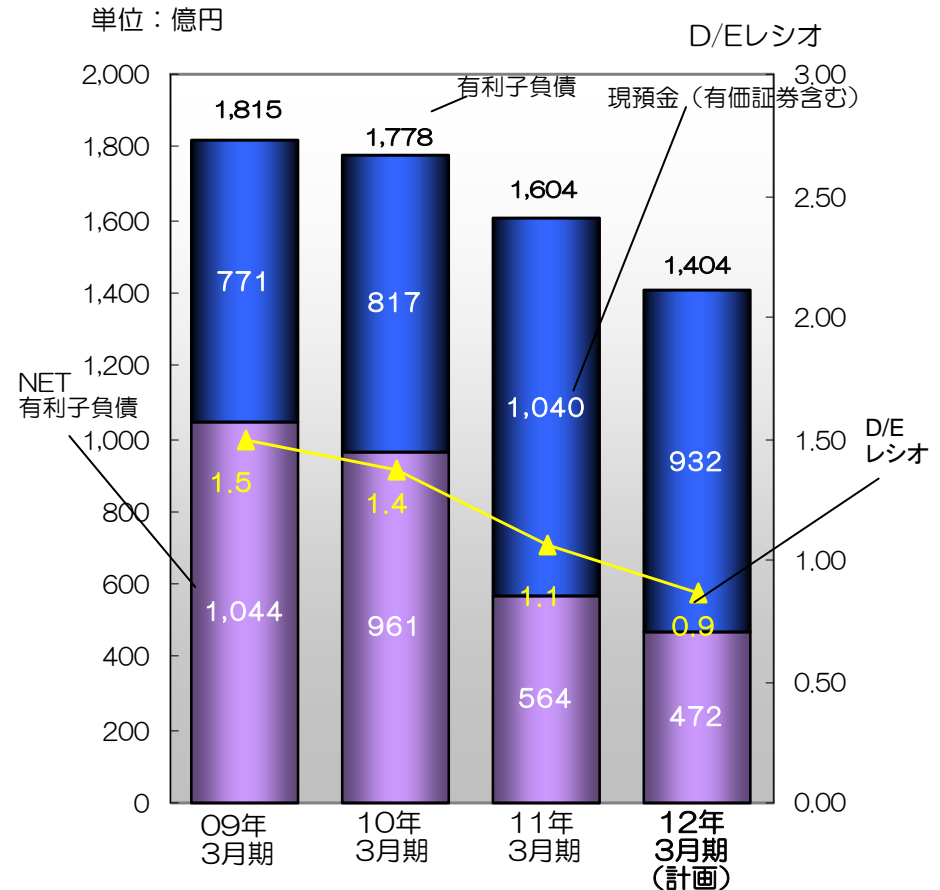
単位：億円



キャッシュフロー計画



有利子負債計画



本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定、を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。